

第 11 回 エコロジカルアート・ジャパン 2人展

2017年8月4日(金)~8月29日(火)

開館時間 9:00~17:00(最終入場 16:30)

休館日 月曜日 (7、14、21、28日)



笹井 弘作品 動植物オールキャスト



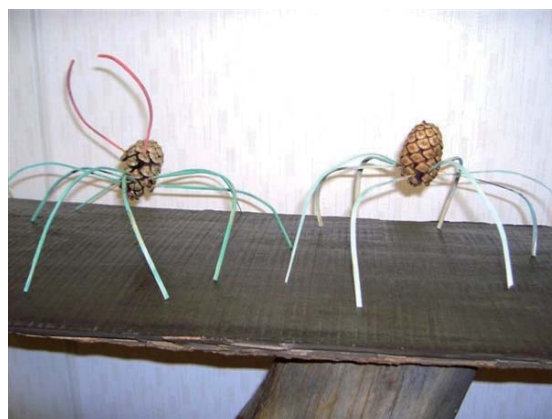
岡田匡史 「野」段ボール、古封筒、アクリル 2017年

ワークショップ 8月8日(火) 10:00~12:00

タイトル 松かさの未来のエネルギー? (動くクモの制作)

会場 絵画館ホール 定員20名 参加費100円

* 申込は梅野記念絵画館まで TEL 0268-61-6161



動くクモ

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1

tel 0268-61-6161 fax 0268-61-6162

<http://www.umenokinen.com/>

笹井 弘(ささい ひろみ)

プロフィール

学生時代、生態学的視点からの地域計画に参加し、その後やや大きく家庭菜園で有機農法による野菜、果樹作りを経験しました。その際、自然農法による存在を知り自然が持つ能力に気付きました。植物が持つ生態学的能力をアートとして見せることは出来ないかと、まず雑草のねこじゃらしの特性を活かした作品制作に取り組みました。それは、まるでねこじゃらしの召使いになった気分でした。その後、植物の種類を増やし作品を大型化し個展、コンクールなどで発表してきました。その際、より環境啓発に繋がるように美術教育的側面も持たせるために各種エコアプローチ造形を開発、ワークショップとして実施してきました。

2004年、任意団体「エコロジカルアート・ジャパン」を立ち上げ作品展展示とワークショップをセットにした活動を行っています。今回は、正会員2名による第11回展です。

略歴

1952年 上田市生まれ
1977年 東京藝術大学美術学部絵画科油絵専攻卒業
1979年 東京藝術大学美術学部大学院壁画研究室修了
現在 上田女子短期大学教授 エコロジカルアート・ジャパン 代表
(URL <http://www007.upp.so-net.ne.jp/ecological-art/>)

個展

盛岡第一画廊、Allan Lean Art Center (Philadelphia, PA, U.S.A)、ギャラリー山口(東京)、上田市丸子文化会館落成記念、たまプラーザ東急(横浜市)、はる工房(つくば市)、小野画廊(東京) ギャラリー舩(東京)、NICAF2001 日本コンテンポラリーアートフェア2001(東京国際フォーラム)、ギャラリー・アート・ポイント(東京)、アート・ギャラリー閑々居(東京)、ギャラリーDIVA(横浜市)、上田市立美術館など25回

受賞歴

1975年 東京藝術大学美術学部「安宅賞」
1995年 第5回環境彫刻&ユーモアアート展(船橋)「最優秀賞」
1996年 第5回アーバナート展(パルコ・アートプロジェクト)「優秀賞」
1997年 チェルノブイリメモリアルコンペ(チェルノブイリ子ども基金)「佳作」
1998年 第3回立体小品全国公募展(小野画廊)「最優秀賞」
第34回神奈川県美術展(神奈川県芸術文化振興財団)「大賞」
1999年 第28回現代日本美術展(東京都美術館、京都市美術館・毎日新聞社主催)「佳作」「横浜美術館賞」
2004年 とよた美術展'04(豊田市美術館)「優秀賞」
2005年 第13回プリント21グランプリ(世田谷美術館)小品部門「グランプリ」他

岡田匡史(おかだ まさし)

プロフィール(制作信条)

職場で廃棄される段ボールで支持体(箱型)を作る。天板にジェッソを塗り、乾いたら古封筒・厚紙類を切り貼りする。そして、賦彩。パレットは段ボールの切れ端や古封筒で代用し、有害物質を含む筆洗瓶の濁水は、段ボールの切れ端や古封筒の表面に注ぐ。こうして賦彩された段ボールの切れ端や古封筒は切り貼り用材料や天板に使う。作品は小型。理由は、忙しくとも制作でき、日本の標準的家屋の諸空間を飾れ、携帯・郵送も容易だから。以上、岡田流エコ絵画制作システム。

略歴

1957年 埼玉県川口市生まれ
1982年 筑波大学大学院修士課程芸術研究科(美術専攻・絵画分野)修了
1985年 Pratt Institute大学院修士課程芸術・デザイン学科(絵画専攻・版画副専攻)修了(M.F.A.取得)
1987年 筑波大学大学院博士課程芸術学研究科(芸術学専攻)単位取得満期退学、山口大学・信州大学で教鞭を執り、現在、信州大学教育学部教授(美術教育学)

主な展覧会、著書・論文、学会発表等

1981年 『雑／分割と充填』(ギャラリー山口 銀座)
1984年 『M.F.A. Thesis Exhibition:ZATSU』(Pratt Institute, Higgins Hall, Room 106, Brooklyn, New York)
1992年 「環境問題への美術教育の取り組み」(第14回美術科教育学会 静岡大学)
1993年 「メディア時代の視覚の治癒」(柴田和豊編著『メディア時代の美術教育』国土社)
1996年 「環境教育—『材料』という転回軸」(石川毅編著『総合教科『芸術』の教科課程と教授法の研究』多賀出版)
1996-97年 「美術-環境教育的観点からの材料論の試みI~IV」(『信州大学教育学部紀要』第87:89-91号)
2000年 『自然の翻訳(The Translation of the Nature)』(朝陽館ギャラリー蔵 長野市)
2004-06年 エコロジカルアート・ジャパン第1-7回展(第7回展:信州大学教育学部ISO14001認証取得1周年記念行事)
2006年 「エコロジカルアートの考察」(第45回大学美術教育学会 新潟大学)
2008年 『ミニ・エコロジカルアート作品展』(上田女子短期大学)
2009年 『環境図書展<特別企画>レイチェル・カーソン—人と業績／わたしたちが引き継ぐもの』(信州大学教育学部図書館)
2010-11年 『エコロジカルアート展』(南アルプス市芦安山岳館)

エコロジカルアート・ジャパンの活動

団体趣旨 2004年設立の任意団体。美術造形作家としてエコロジーの視点を持ったアートを制作・発表することで環境啓発を行う。同時に美術教育的側面からエコアプローチ造形ワークショップを実施し一層の理解につなげる。

正会員 笹井 弘(代表)
岡田匡史(信州大学教育学部教授)

賛助会員 甲田洋二(画家、武蔵野美術大学元学長)始め6名

活動記録(ワークショップ含)

2004年 第1回展(ギャラリーJ2 東京)
第2回展(神奈川県トヨタ自動車)
第3回展(船橋市立子ども美術館)
2005年 第4回展(ギャラリーJ2 東京)
第5回展(横浜トヨペット)
2006年 第6回展(ルクスギャラリー 東京)
第7回展(信州大学教育学部)
2007年 第8回展(東京電力・テブコ浅草館)
2008年 第9回展(上田女子短期大学)
2009年~10年 第10回展(南アルプス市芦安山岳館)
2017年 第11回展(東御市梅野記念絵画館)

後援企業・団体

グリーン電力基金(東京電力)、さくらクレパス、プリウス森木会(神奈川県トヨタ自動車)、クサカベ絵の具、(社)日本環境教育フォーラム、サークルクラブ協会、山梨日日新聞、山梨放送、テレビ山梨、産経新聞・朝日新聞・毎日新聞・読売新聞各甲府支局、NHK甲府、上田市教育委員会、NBS 長野放送、信濃毎日新聞など

取材 毎日新聞横浜支局、毎日新聞交通神奈川、NHK一都六県、SBC信越放送、神奈川トヨタグループ社内報、信濃毎日新聞、モーターマガジン社、東信ジャーナルなど

同時開催：第17回私の愛する一点展(観覧料600円) 8月27日(日) マルーシカ お話の会 13:30~(要予約)